

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	下水道	コード	作成者	役職	下水道課長
		01-01-10	氏名	高橋昌弘	
			電話	66-9701	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が、健康で快適な生活を享受し、豊かさを実感できる地域づくり及び、海・河川などの公共水域の水質保全、浸水防除を図る事業	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	アンケートの結果、下水道の施策の重要度は比較的低く、満足度は高い調査結果になっており、日生・吉永地域は汚水対策についてはほぼ整備を終えているためこのような結果になっているものと考えられます。両地区については今後の雨水対策の検討が必要となります。備前地区については汚水整備率が70%と両地区に比較的低いことから、早急な整備が望まれている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道の整備</li> <li>公共下水道計画区域外への対策</li> <li>雨水対策の推進</li> <li>水洗化の促進</li> <li>適正な維持管理</li> <li>建設財源の確保</li> <li>健全財政の維持</li> </ul>	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
			H17		H18		H19		
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 公共下水道施設整備事業	B	管渠整備事業	ハード事業	608,084	28,348	555,030			
		施設改築事業	ハード事業	44,200	1,705	282,002	40,920		
		認可変更委託業務	内部管理	0		3,744			
		水道管外移設補償事業	内部管理	83,665	617	42,144			
2 公共下水道施設整備事業(吉永)		管渠整備事業	ハード事業	2,211	1,620	-			
3 浄化槽設置補助事業	B	浄化槽設置補助事業	法定事務	18,621	1,925	16,432	2,140		
4 個別排水処理施設整備事業		個別排水処理施設整備事業	ハード事業	29,925	3,775				
5 農業集落排水施設整備事業		管渠整備事業	ハード事業	284,565	12,413				
		処理場整備事業	ハード事業	46,100	2,012				
6 雨水施設整備事業	C	管渠整備事業	ハード事業	126,320	5,997	77,028			
		ポンプ場整備事業	ハード事業	7,644	362	167,694	11,800		
		水道管外移設補償事業	内部管理	1,888	91	946			
7 水洗化普及事務	C	啓発事務	ソフト事業	509	2,835	164			
		水洗便所改造資金融資斡旋事務	法定事務	17	300	38	380		
8 公共下水道施設管理事業	C	浄化センター外管理事業	維持管理	304,712	24,200	300,941			
		管渠施設管理事業	維持管理	16,238	6,830	14,899	27,070		
9 農業集落排水施設管理運営事業	C	農業集落排水施設管理運営事業	維持管理	16,152	1,780	26,220	2,055		
10 漁業集落排水施設管理運営事業	B	漁業集落排水施設管理運営事業	維持管理	20,649	2,255	19,658	3,085		
11 個別排水処理施設管理運営事業	C	個別排水処理施設管理運営事業	維持管理	16,333	1,275	17,393	830		
12 排水設備検査事務	B	排水設備検査事務	法定事務	0	7,875	0	6,600		
13 受益者負担金賦課徴収事務	C	受益者負担金賦課徴収事務	内部管理	12,173	4,620	16,247	5,070		

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	4,199,726	4,105,184	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

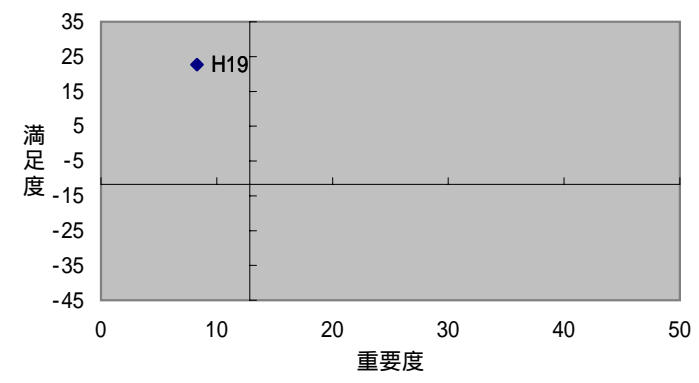
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
水道営業課	使用料徴収	下水道使用料の徴収事務
水道工務課	水道管移転補償	下水道工事と上水道工事の連携を行なう

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	日生・吉永地区については、汚水整備事業は完了しており、今後は備前地区の整備が急がれる。財政的にも厳しいことから、整備区域、整備手法の見直しを行なっている。	3	早急に見直しを行ない市民の理解を得る必要がある。
2 事業構成の適当性	3	整備状況に地域間の格差があるため、整備事業に力を入れていく必要がある。	3	同 左
3 施策の有効性	3	下水道普及率は向上している。公共水域の水質も改善されつつある。	3	公共水域の水質向上及び、浸水対策に有効である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	汚水処理施設の効率かつ適正な整備を進めるため区域及び整備手法の見直しをおこなっている。又、施設管理については、経費の削減にさらなる努力することが望まれる。水洗化普及の促進を図るべき、積極的に啓発活動を行なう必要がある。			財政状況を考慮した計画的な整備を行い、地域間の格差是正を図る。
二次評価者コメント	下水道は生活環境の改善、浸水の防止等を行ううえで必要不可欠の施設であります。整備については、多大の経費と年数を必要とすることから、現在区域及び整備手法の見直しを行なっています。本市の財政は非常に厳しい状況にありますが、住民の要望は高く更なる経費の節減に努めながら事業を進めていく必要があります。			平成20年度予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	8.3		
満足度(%)	22.7		



高 ↑ 満足 度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
平均	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査の結果、旧日生町・吉永町においては汚水整備事業は完了していることから、満足度は高くなっていると考えられるが、旧備前市にあっては整備率も71%と両地域に比較的低くその他の意見として、早急な整備を望む意見が多かった。(その他市政に関する意見273件中、下水道に関する意見が12件ありその内の9件が早急な整備を望むものであった。)
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 整備率	目標	%	65.1	66.5	80	95	到達目標年度の延期(H30)見直し中
	実績	%	65.1	70.0			
	達成率	%	100.0	100.6			
2 水洗化率(接続率)	目標	%	100.0	100.0	100	100	下水道事業全体の水洗化率
	実績	%	87.6	87.2			
	達成率	%	87.6	87.2			
3 放流水質(COD・BOD)	目標	mg/l	15.0	15.0	15以下	15以下	放流基準値 COD 30mg/l BOD 30mg/l
	実績	mg/l	9.7	12.0			
	達成率	%	154.6	125.0			
4 処理水量(全処理場)	目標	m³	6,843,385	6,843,385			年間処理水量 4処理場
	実績	m³	3,220,660	3,384,184			
	達成率	%	47.1	49.5			

